

2024年6月期(第18期) 決算説明資料

あいホールディングス株式会社
証券コード：3076

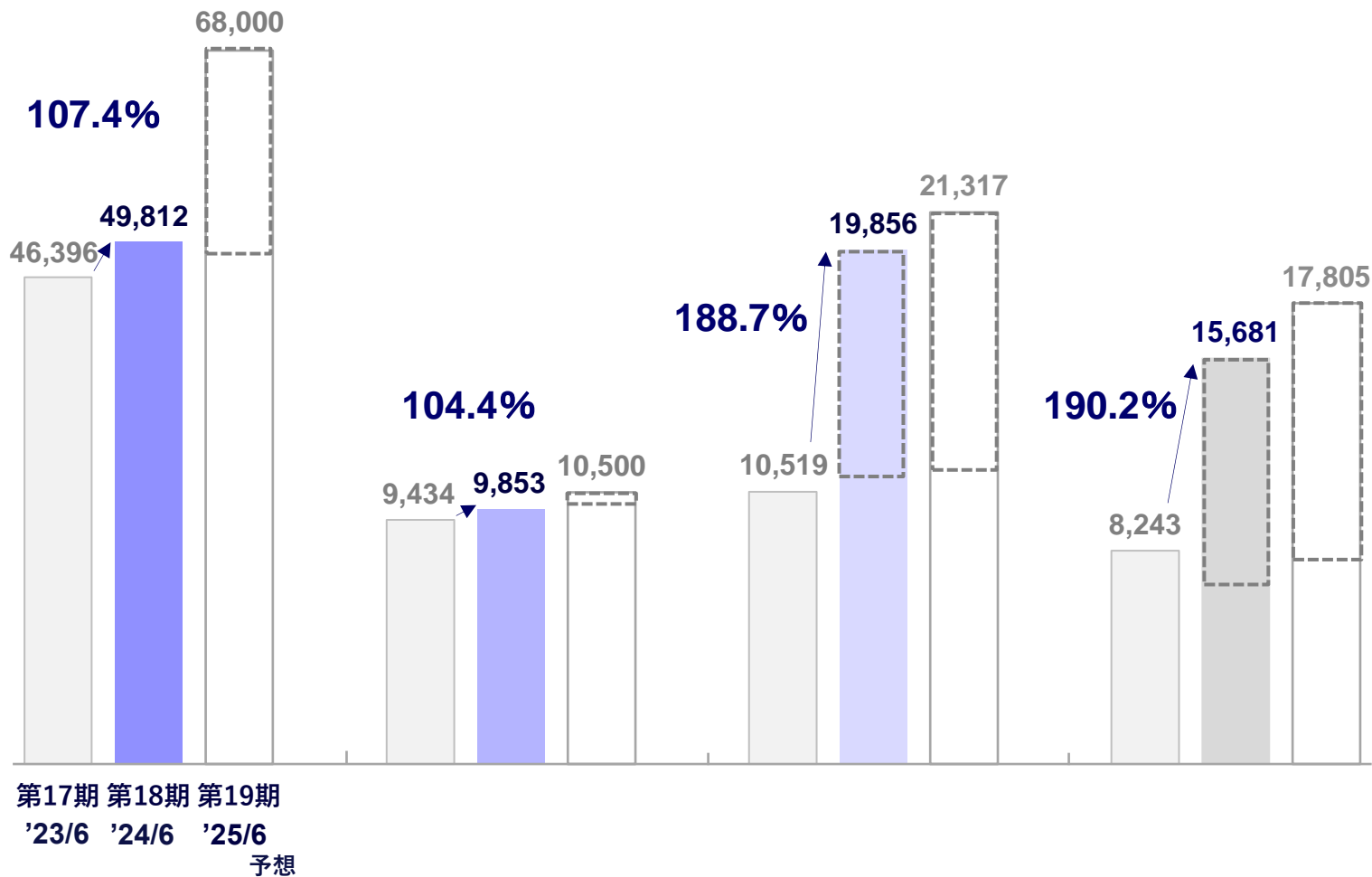


2024年6月期(第18期)通期連結実績・予想

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 純利益

(百万円)

※岩崎通信機 寄与分



主要事業会社と事業内容



(株)ドッドウエル ビー・エム・エス

セキュリティ機器

カード機器

鉄骨CADシステム

GRAPHTEC

グラフテック(株)

情報機器

計測機器



株式会社 あい設計

耐震診断、構造設計



株式会社 アイグリーズ

脱炭素システム

主要事業の営業利益

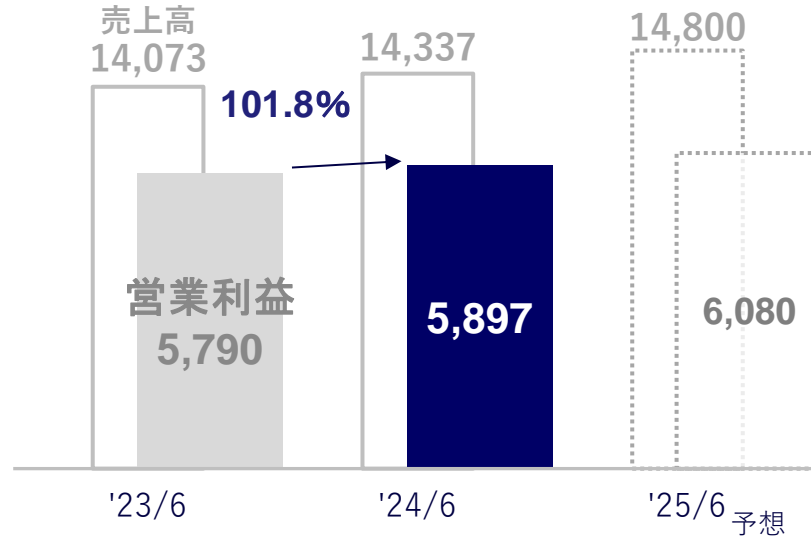
主力のセキュリティ機器事業は、一般法人向けの好調もあり最高益を更新し全体業績を牽引した。カード機器及びその他事務用機器は安定推移。情報機器事業は、個人向けカッティングマシンが苦戦。設計は、大口の耐震設計を受注し上振れ。連結全体では過去最高益を更新。

単位：百万円 (百万円未満切り捨て)	'22/6	'23/6	'24/6	前年比
セキュリティ機器	5,504	5,790	5,897	101.8%
カード機器及びその他事務用機器	899	796	808	101.6%
情報機器	2,628	1,856	1,425	76.8%
設 計	319	306	575	187.5%
その他・調整 (脱炭素システム含む)	499	684	1,147	167.6%
連 結	9,850	9,434	9,853	104.4%

セキュリティ機器事業

4期連続増収増益で過去最高益を更新!!

(百万円)

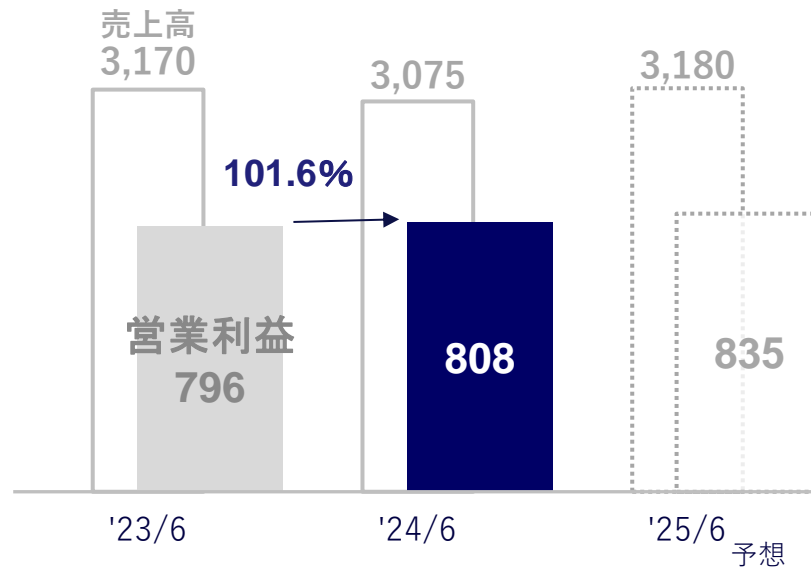


概況

- ・マンション向けは、分譲、賃貸ともに自社更新が計画を上振れ。
今期より、賃貸リプレース対象が増加に転じるため、全体件数がアップトレンドに転換。
- ・一般法人向けは、『見える化』ニーズを取り込み好調。
AI技術を活用した画像解析に注力中。

カード機器及びその他事務用機器事業

(百万円)

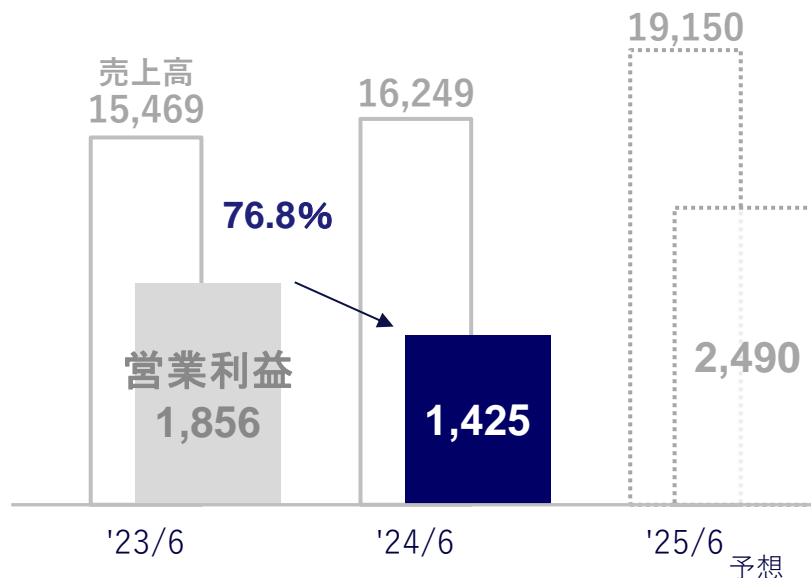


概況

- ・カード機器事業は、診察券即時発行機のリプレースが順調。信用金庫よりキャッシュカード即時発行機の受注がスタート。
- ・鉄骨CAD事業は、増設ニーズを取り込む。会員制鉄構業情報提供サービス「AI-Prime-Members」を強化。APM会員社数が200社を超え、対前年比倍増。

情報機器事業

(百万円)

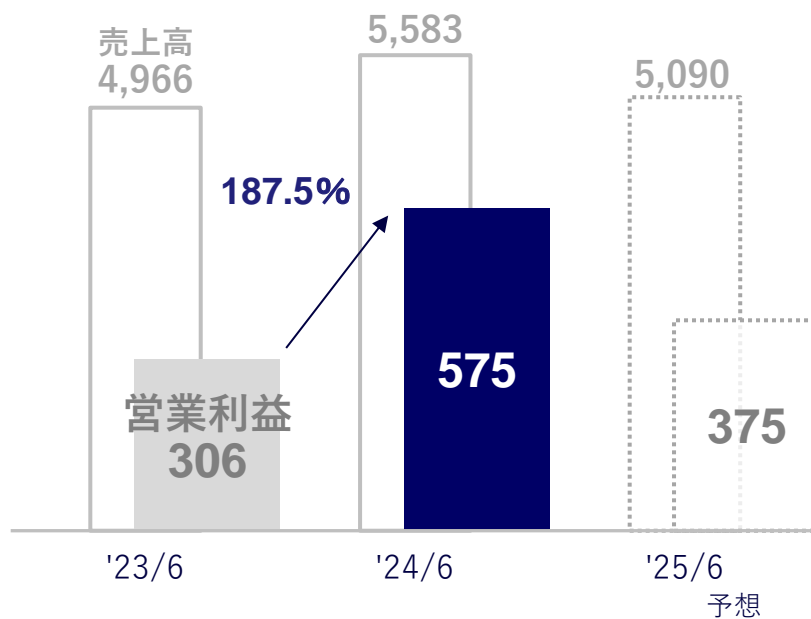


概況

- ・業務用カッティングマシンは、半導体部品を含む電子部品等の調達困難が解消され、好調に推移。今期7月よりブラシュ・アップした新製品「CE8000シリーズ」の発売を開始。
- ・個人向けカッティングマシンは、旧商品の在庫が一掃。米国ホビー市場における個人消費の冷え込みで伸び悩む。

設計事業

(百万円)



概況

- ・ 第3四半期に約400棟の耐震診断を受注し上振れ。
- ・ 大手ゼネコンより、安定的に官公庁及び民間から構造設計を順調に受注。

連結貸借対照表（2024年6月30日現在）

（単位：百万円）

資産の部	2023年 6月30日	2024年 6月30日	負債の部	2023年 6月30日	2024年 6月30日
流動資産	56,544	56,194	流動負債	9,482	9,973
・現金及び預金	37,594	36,084	・支払手形及び買掛金	3,855	3,960
・受取手形、売掛金及び契約資産	6,783	7,963	・リース債務	440	418
・リース投資資産	866	665	・未払法人税等	826	1,011
・商品及び製品	7,813	8,181	・その他	4,359	4,582
・その他	3,487	3,299	固定負債	3,770	3,413
			負債合計	13,253	13,387
固定資産	23,980	37,707	純資産の部		
・有形固定資産	10,221	10,844	株主資本	64,033	75,305
・無形固定資産	1,859	2,270	・自己株式	△4,705	△4,707
・投資その他資産	11,899	24,591	その他の包括利益累計額	2,984	4,726
			純資産合計	67,271	80,514
資産合計	80,524	93,901	負債・純資産合計	80,524	93,901

B/S重視、堅実経営

- 自己資本比率：85.2%
- 無借金経営
- 自己株式：9,230,904株
- 年間配当：90円（2025年6月期 予想）

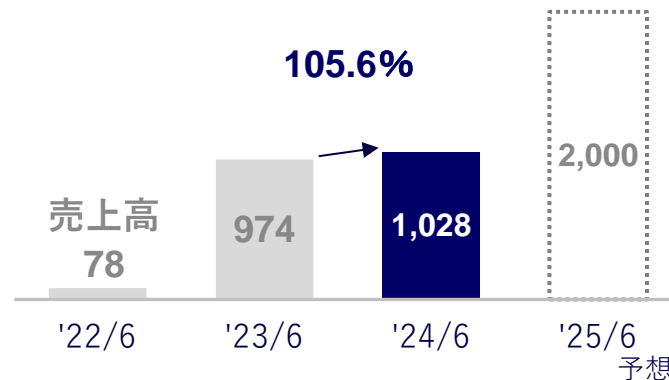
脱炭素システム事業

事業開始3年で累計売上高20億円を突破！！

6月末導入累計件数：1,267件

今期売上目標計画：20億円

(百万円)



概況

(国内)

- ・ロードサイド型飲食店や大型飲料工場などのテストトライアル結果では高評価を獲得。
- ・今年度は、テストトライアルから正式受注納品へ。

(海外)

- ・タイ現地法人「Ai-Glies(Thailand)」が順調な立ち上がり。
- ・ベトナム現地法人「Ai-Glies(Vietnam)」が事業活動をスタート。

トピックス

岩崎通信機(株)と経営統合 9月1日完全子会社化

◆当社のM&Aを行う際の基準の一つ 「1株当たり純資産（BPS）を低減させない」

株式交換により交付する株式数は6,024,584株（予定）
保有する自己株式約923万株で対応

1株当たり純資産の推移	2023年6月期 1,420円 2024年6月期 1,700円 2025年6月期 1,781円（予想）
岩崎通信機に絡む持分法投資利益 （負ののれん発生益相当額）	2024年 87億円／2025年 100億円（予想）
2025年岩崎通信機のP/L寄与分	売上高150億円／営業利益5億円（予想）

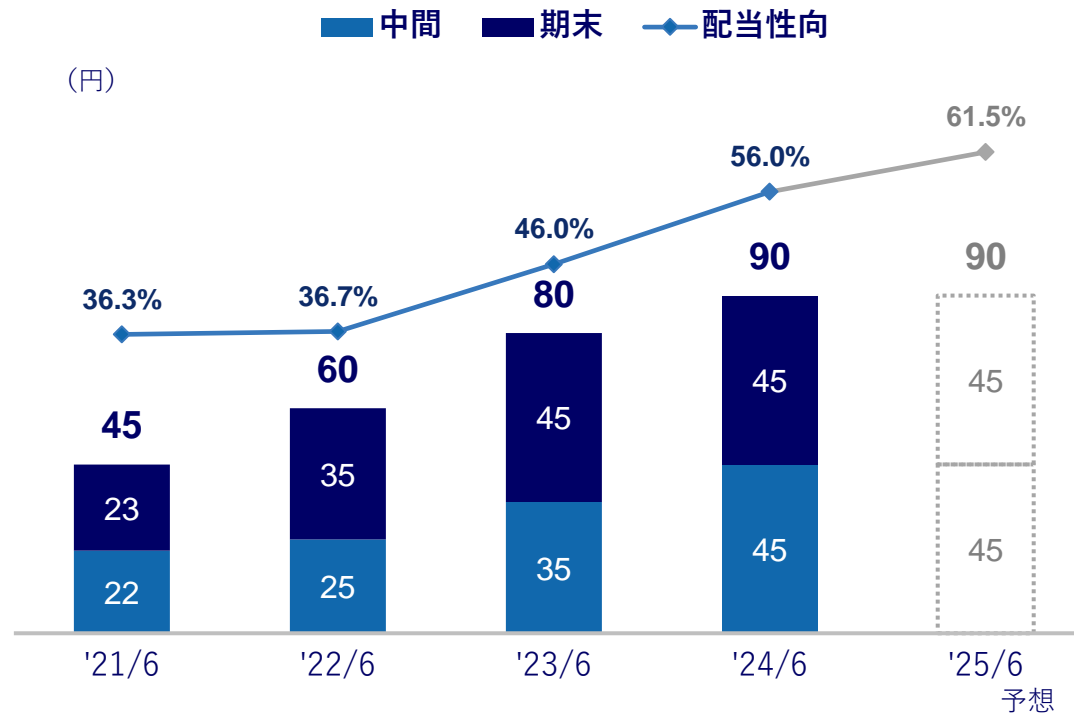
【関連リリース】

- 2024年7月23日 「（変更）「あいホールディングス株式会社と岩崎通信機株式会社との経営統合に関する統合契約書及び株式交換契約の締結（簡易株式交換）のお知らせ」の一部変更について」
- 2024年5月31日 「あいホールディングス株式会社と岩崎通信機株式会社との経営統合に関する統合契約書及び株式交換契約の締結（簡易株式交換）のお知らせ」
- 2023年12月18日 「第三者割当増資の引受け完了による業績予想の修正に関するお知らせ」
- 2023年11月30日 「あいホールディングス株式会社と岩崎通信機株式会社の資本業務提携及びあいホールディングス株式会社による岩崎通信機株式会社が実施する第三者割当増資の引受け（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ」

配当について

株主の皆さまへの利益還元の姿勢をより明確にするため、配当性向50%以上を基準としています。

※岩崎通信機(株)からの会計上発生する持分法投資利益（負ののれん）については、一時的なものであるため、配当性向を算出する際に当期純利益から控除しております。



ご留意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料の内容に関し如何なる保証もするものではありません。記載されている情報は掲載した時点での情報であり、記載時点以降に変更される場合がありますことを予めご承知置き願います。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

本資料に関するお問合せ先

あいホールディングス株式会社

管理本部 経営管理部 広報室

TEL 03-3249-6335

E-mail ir-contact@aihholdings.co.jp